

平成29年度 えびの市立真幸小学校 学校評価

I よく考え自分から学ぶ子

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現状	課題	改善点	評価	委員の意見
1 学習指導の充実	3. 6 (2. 8)	3. 7 (3. 2)	3. 7 (3. 3)	実物投影機や視聴覚教材を用いて教材教具の工夫をしたり、個に応じた指導の充実を図ったりして、指導内容の定着を目指している。	一人一人の学習の理解度や学習意欲にかなりの個人差があり、指導方法や指導体制等の充実した取組について、工夫・改善の必要がある。	一人一人の実態を十分に把握し、個に応じた指導の在り方、指導体制について共通理解を図り、共通実践を行えるようにしている。	4. 0 (3. 6)	○ 30人学級により、寄り添った指導ができています。 ○ 先生方は日々研鑽されていると感じている。 ○ 個々の能力を見極めながらの指導は大変な仕事だとは思いますが、それはとても大切なことだと思う。
2 学習意欲の向上	3. 6 (2. 9)	3. 1 (3. 0)	3. 5 (2. 6)	年度当初に、全職員で「学習の約束」「家庭学習の進め方」についての共通理解を図り、指導の徹底を図っている。	基礎学力が十分に身に付いたり、学習方法が身に付いたりすれば学習意欲は次第に高まってくる。そのための具体的な手立てを整えていく必要がある。	教師は授業の質を上げるために、教材研究や指導方法の工夫改善を図っていくとともに、全職員が共通理解・共通実践で推進していく。	3. 7 (3. 5)	○ 意欲に関しては強いものを感じている。 ○ 子どもたちが毎回興味を抱くことが大事だと思う。大変なことではあるが… ○ 基礎学力が身に付けられ勉強が楽しくなり、学力向上になると思う。
3 家庭学習の定着	3. 4 (3. 5)	3. 0 (3. 2)	3. 2 (2. 8)	学級懇談会で保護者への説明を行い、家庭学習の見守りの協力をお願いした。また、子どもたちへ具体的に指導を行い、家庭学習の充実を図っている。	家庭学習の取組に個人差があり、その結果、学習の定着の差が生じている。家庭環境に応じた実施上の工夫が必要である。	学校での学習と家庭での学習が連動することにより、学力が定着する。全員が確実に取り組める環境の整備と学習内容の工夫改善が必要である。	/	○ 家庭学習の重要性について、保護者の認識が低い。 ○ 各家庭により差が生じているのは仕方ないと思う。具体的な方策が見つかることを期待している。 ○ 家庭環境は個々に違うので、宿題等の出来具合などで家庭を知ることが大事だと思う。
4 読書活動の推進	2. 8 (2. 8)	2. 4 (3. 8)	2. 6 (2. 8)	読書タイム(読み聞かせ)を毎週1回設定したり、多読賞の表彰を行ったりするなど、読書活動の推進を図っている。	読書に積極的に取り組む子どもとそうでない子どもの差ははっきりと現れてきている。	本を借りて読みたくなるような仕掛けを用意するとともに、限られた時間の中で読書の時間を確保できるようにしていく必要がある。		○ 市立図書館などの利用を訴えるべきではないか。 ○ 読書の大切さをいかに子どもに分かってもらえるかが大事である。 ○ 子どもの頃に読んだ本は、一生、頭の中に残っているものである。子どもたちに読書の習慣を付けることが大事である。
保護者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝、元気に学校に行ってくれること、帰ってきて今日の出来事を聞くことで、学校での生活が楽しく、上手くいっていることが伝わり、安心する。今後ともよろしく願いたい。 ○ 新任の先生に対してのフォローがしっかりなされているのか。新任の先生が頑張っているのは分かるが、それをベテラン先生がアドバイスなどをしているのか。 ○ 参観日が以前に比べてとても少なくなったような気がする。 ○ 学習発表会は学年ごとではなく、全体でやってほしい。 ○ 夏の個別面談は、自由ではなく、全員あった方がよい。 							

II きまりを守り、思いやりのある子

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	委員の意見
1 気持ちのよい挨拶	3. 4 (3. 2)	3. 5 (3. 2)	3. 7 (2. 5)	「あいさつ運動」を全校的に取り組んできた成果が出てきている。校外でも当たり前のように挨拶ができると良い。	元気よく心のこもった挨拶ができる子どもと、そうでない子どもが見られる。	1の付く日を「あいさつ運動の日」と位置付けて実践してきて、定着化が図られてきている。心を込めるなど質的な充実を図るために、今後も工夫・改善が必要である。	3. 6 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> 〇 ここ数年の学校のあいさつ運動の効果で、良いあいさつに出会っている。今後も続けてほしい。 〇 校外でのあいさつは、まだ、少し消極的に感じる。 〇 子どもに求める前に、大人自ら挨拶をしていけばよいと思う。結果はついてくる。 〇 挨拶について、大変向上している。
2 丁寧な言葉遣い	2. 8 (2. 9)	3. 5 (3. 5)	2. 9 (2. 5)	子どもたちの中には、人が傷つく言葉や嫌がる言葉を言ったりすることがある。各学年の実態に応じて、日常指導や学級活動、道徳の指導の時間に関連的に指導を行っている。	「ちくちく言葉」「ふわふわ言葉」のことについて全校児童に対し指導を行ったが、子どもたちの言動を把握し、その場での指導を全職員でしっかりと行う必要がある。	各学年の実態に応じて全教育活動を通して、指導を充実・徹底させるとともに、参観日(12月)人権週間と関連を図り、参観授業を行い、子ども・保護者に対し啓発を行う。	2. 9 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> 〇 目上の人には丁寧な言葉遣いができていると思う。子ども同士での言葉遣いにはあまり神経質にならなくてよいと思う。 〇 保護者への啓発が大事なような気がする。 〇 以前と比べ向上したが、時折、乱暴な言葉遣いを耳にする。
3 規範意識の定着	3. 0 (2. 9)	3. 2 (3. 5)	2. 9 (2. 8)	年度当初に、「真幸っ子生活ガイド10の約束」を提示し、学校生活や休みの日の過ごし方について指導を行った。	規範意識が全体的に低調であり、集団、社会生活を送る上で、ルールを守ることの必要性を認識していない。	規範意識は、集団生活を営む上で必要不可欠であるという認識をもたせる。その一つの具体策として廊下歩行に力を入れ、共通実践をしていく。	3. 1 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> 〇 常識の範囲でよいと思う。子どもは元気ではないので。 〇 個々人ではできていると感じている。ただ、どうしても集団心理が働いてしまうためになる気がする。 〇 子どもたちはルールを守る意識が高い。
4 楽しく登校・下校	3. 5 (3. 0)	3. 8 (2. 8)	3. 8 (3. 2)	本校のスローガンである。元気に歩いて登校するという点については、1km徒歩登校を呼びかけている。	保護者に対し、体力向上の一環としての自力登校について、意義を理解してもらい、協力してもらおうとともに、子どもの意識を更に変えていく必要がある。	楽しくて安心して通え、過ごせる学校を目指し、今後も教育活動を推進していく。	3. 5 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> 〇 登下校に子どもを車で送り迎えする姿をよく見かける。学校までの距離の問題もあると思うが、昔の者には考えられない。 〇 みんな頑張っていると思う。 〇 概ね守られている。
保護者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 〇 高学年は、自分から進んで気持ちの良い挨拶をしてくれる。 〇 よく挨拶をしてくれる。横断歩道で車を停めて渡してあげると、きちんと礼をしてくれる。 〇 「自力登校、下校」は、十分に理解している。また、できることならば、「自力登校、下校」してもらいたいのが本心である。しかしながら、下校時、少子化のため、やむを得ず一人下校になってしまうのが現状である。子どもたちが、安心して元気に登下校できるような地域環境になればと思う。 							

III 健康で粘り強くやりぬく子

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	委員の意見
1 基本的な生活習慣の確立	3. 0 (2. 9)	3. 6 (3. 2)	3. 3 (3. 0)	1日の始まりから下校するまで規則正しい学校生活を送れるように校時程の工夫を行うとともに、さわやかチェックや健康貯金通帳の取組を行い、健康的な学校生活を送れるように継続して指導をしている。	さわやかチェックでは、個人差が大きい。家庭に呼びかけ、協力を願う必要がある。また、家庭での基本的な生活習慣が十分でない子どもの多くが、睡眠不足等により遅刻や欠席があった。	基本的な生活習慣が定着することにより、いきいきと家庭・学校生活を送り、健康的な生活につながるため、家庭への啓発活動を更に行う必要がある。	3. 4 (3. 5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一番大切なことだと思う。 ○ 各家庭への啓発は必要と感じているが、過度の期待は禁物では? 親力は低下している。 ○ 朝食の徹底をしたい。
2 運動の日常化	2. 9 (3. 2)	2. 8 (2. 8)	3. 3 (3. 2)	学校では、朝の運動、体育の時間の指導、昼休みと元気に体を動かしている。学校外では、スポーツ少年団に入っている子どもも入っていない子どもの二極化となっている。	体を動かすことが好きな子どもたちが増え、始業前、昼休みは元気に遊んでいた。しかし、運動場の整備工事があったため、後半の期間は外遊びが制限された。	運動場の整備が終わったら、昼休み等も遊びや運動ができるように開放していく。今後、担任の指導のもと、遊び方の紹介などを行っていく必要がある。	3. 6 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔のように外で遊ぶ子どもを見かけない。学校で積極的に運動するように指導が必要だと思う。 ○ 通常の学校生活の中で取り組める範囲でよいと思う。 ○ 時代の変化により仕方ないこともあるが、夏休みのプール利用などを徹底するべき。
3 家庭での手伝い	2. 3 (2. 2)	3. 0 (2. 6)	2. 7 (2. 5)	学校では、家族の中の一員として、手伝いを積極的に行うように指導を行っているが、まだ十分とは言えない。	学年の発達の段階に応じて、各家庭に対し、具体的な啓発を行っておらず、定期的に少しずつできる手伝いを考えさせる必要がある。	家庭訪問や4月参観日での懇談時において、家庭でできる手伝いについて話題にしていくようにする。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔と違い、子どもの手伝いが少なくなっている。親子で話し合い、役割を決めたらよい。 ○ 「手伝い」とは何かを考えさせ、子どもたちでできることを探してみてもいいか? ○ 学年に応じた指導を期待する。それに家庭が合わせていくのがベストではないか。
保護者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市小体連（水泳・陸上大会）での子どもたちの活躍が目立っていたと思う。 ○ 冬も水筒を持参した方がよい。 							

IV その他

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	委員の意見
1 情報の発信・啓発		3. 8 (3. 2)	3. 2 (3. 0)	学校文書や保健便り等、学校の様子やお願い等を載せて発信している。ホームページを新たに開設したが、更新が思うように進んでいない。	全ての保護者の方が確実に見られているか確認できていないが、保護者のニーズ等も考慮したものに工夫していく必要がある。	安心安全メールやホームページ、学校から発行する文書などが、有機的に関連するように、運用面での工夫改善を図っていきたい。	3. 4 (3. 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ メールは、速効性があると思う。 ○ プッシュ型の情報発信が求められる。(スマホのアプリ開発など)
2 地域との連携・交流活動等		3. 2 (3. 2)	3. 5 (3. 2)	年間を通して、キャリア教育、体験活動等を積極的に活用しており、充実した取組が実践できている。	それぞれの活動の主体となる方々との連絡調整や学校としての意図をしっかりと伝え、活動をしていくことが重要である。	子どもたちの教育活動が更に充実したものになるように、子どもたちの実態に即した活動を積極的に取り入れていく必要がある。	3. 7 (3. 8)	<ul style="list-style-type: none"> ○ できるだけ学校の要望に応じて、子どもたちと触れ合うようにしたいと考えている。 ○ 地域の協力は必要であるし、また、十分に協力をもらっていると感じている。 ○ 様々な職種に触れることを期待したい。
3 学校行事等の運営		3. 6 (3. 0)	3. 0 (3. 0)	昨年度の反省にたつて、様々な行事の改善をしながら実践できている。	年度当初に立てた計画は予定通り実施することができた。	来年度は、午前5時間制を導入していくので、学校行事等についても、どのように計画すれば教育的効果が高いのかを検討しながら実践していく必要がある。	4. 0 (3. 0)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい取組も始まるので、成果が楽しみである。 ○ 「午前5時間制」に期待している。 ○ 先取りの考え方で非常に期待できる。
4 環境整備		3. 0 (3. 0)	3. 0 (3. 0)	学校で行う毎時間の清掃活動、年3回実施しているPTA奉仕活動等を実施し、充実した環境整備を行っている。ただ、本年度の奉仕作業は、雨のために1回中止した。	安心・安全な学校施設を維持していくために毎月1回安全点検を実施している。改善すべき箇所は速やかに対応できるようにしていく。	子どもが安心・安全な学校生活が過ごせるように、安全点検を充実させ、安全で美しい環境の整備を計画的に進めていく。	3. 9 (3. 8)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校庭の整備も完了して、いろいろと楽しい行事ができるようになった。安心して運動ができることは幸せである。 ○ 校内美化は素晴らしい。 ○ 明るい教育環境が保たれている。
保護者の意見	○ 特になし							